

Seed CSR Letter

「見える」を、「サポート」します。

CSRとは、企業の社会的責任のことです。シードは、良き企業市民として、環境・社会・地域との調和をはかり、その発展に貢献することを企業の理念として掲げております。

CSRレポート シードが行った活動のご報告！

Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト

BLUE SEED PROJECT ～海に愛(Eye)を～



12
2018
Dec.第44回 ニッポン放送
ラジオ・チャリティ・ミュージックソン'18
RADIO CHARITY
MUSIC SON

文京メガネ

目の不自由な方たちが安心して街を歩けるように『音の出る信号機』を設置するための基金を募るチャリティキャンペーンに参加しました。ラジオ局のニッポン放送が長年にわたり実施しているこのキャンペーンは、番組を通して、目の不自由な方だけでなく、体の不自由な方への理解促進と思いやりの気持ちを育むことを目指しています。24時間ラジオ番組ということからイメージされる音楽とマラソンを掛け合わせてミュージックソンと名付けられたそうです。今回のパーソナリティは、Kis-My-Ft2(キスマイフットツー)さんでした。社内やシードの販売店にラジオ・チャリティ・ミュージックソン募金箱を設置し、協力を呼びかけました。

アイススペース
和泉中央店アイススペース神戸
西神オリエンタル
ホテル店

募金活動での
寄付金額は、
総額 **148,104円**
でした。

5
2019
May.埼玉西武ライオンズ「SEED 花道ハイタッチ」で、
子どもたちの夢を応援します。

埼玉西武ライオンズの試合前ハイタッチ企画は、ライオンズファンクラブジュニア会員だけが参加可能で、年間1万人を超える応募の中から抽選で毎試合30名しか参加できない人気イベントです。

埼玉県鴻巣市にコンタクトレンズの製造・研究開発拠点「シード鴻巣研究所」を構えているわたしたちシードは、お客様の「見える」をサポートするだけでなく、子どもたちの「夢」も応援してまいります。



SEED

3
2019
Mar.春休み！
チャレンジスクール

鴻巣市内在住児童及び保護者の方40名を対象に工場見学(お子様のみ)と、実際にコンタクトレンズに触れながらコンタクトレンズの仕組みや素材について学ぶためのスクールを開催しました。子どもたちの興味津々な様子が印象的でした。《鴻巣市主催》

寺子屋
(職業講話)

文京区立第三中学校の1年生へコンタクトレンズの基本知識や研究職になるための説明を行いました。

《公益社団法人 東京青年会議所主催》

4
2019
Apr.アイメイト研修
(体験歩行・募金活動)

入社式では新入社員59名を対象に、社会人としての責任や思いやりの心を育てるために、アイメイト候補犬との体験歩行をはじめとするアイメイト研修を実施しました。また、実際に「見えない」ことを体感することで、「見える」の大切さを知り、自分たちの扱う商品に対する責任の重さを実感してもらいました。更に、銀座の数寄屋橋公園にてアイメイトの啓蒙チラシを配り支援と募金を呼びかけました。



Pureな愛をありがとうプロジェクト

あなたの「見える」が誰かの「見える」に…

【プロジェクトについて】

視覚障がい者は目からの情報が得られない為に、歩行に不自由をきたしますが、目の役割を担って視覚障がい者の歩行、ひいては社会参加を助けるのがアイメイト(盲導犬)です。「Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト」は、そんな“見える”を、2011年7月よりコンタクトレンズを通じてサポートしています。今期よりさらなる見えるをサポートするため、アイメイト協会だけでなく、視覚障がい者の“見える”をサポートしている団体に寄付を拡げました。売上箱数に応じた寄付を行うことで、私たちがコンタクトレンズを装着して“見える”状態になると同時に、視覚障がいの方の“見える”もサポートしてまいります。



ポスター



スینگPOP

寄付への
感謝状アイメイト
募金箱シードオリジナル
アイメイト募金箱

【寄付先】公益財団法人 アイメイト協会

- 代表理事：塩屋 隆男 ●所在地：東京都練馬区関町北5丁目8番7号
- 事業内容：アイメイト(盲導犬)育成、視覚障がい者の歩行指導等を通じた視覚障がい者の自立支援

活動実績

「アイメイト協会への寄付金」

2011年度(7月1日～3月31日分)	3,330,090円	2015年度	9,295,066円
2012年度	5,356,943円	2016年度	11,257,017円
2013年度	6,692,989円	2017年度	12,000,000円
2014年度	7,117,878円	2018年度	12,000,000円
		累計	67,049,983円

「2018年度の寄付金先」

●「目の愛護デー」	1,100,000円
●(財)日本アイバンク協会	130,000円
●(財)日本失明予防協会	50,000円
●「ブラインドメイク」世界に広げようプロジェクト	100,000円
●ニッポン放送「第44回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」への協力	1,200,000円
合計	2,580,000円

「株主優待による寄付金」

2014年度～2018年度	累計	6,670,000円
---------------	----	------------



BLUE SEED PROJECT ~海に愛(Eye)を~

使い捨てのブリスターを回収し、リサイクルをする
BLUE SEED PROJECTが始まります！
シード製品に限らず、すべてのブリスターが対象です。



ブリスター見本

アルミは
はがしてね！

昨今、社会的課題となっている廃プラスチック問題。
特に海に浮遊している海洋プラスチックが大きく注目を集めています。

外食産業ではストロー廃止などの動きが広がっています。
シードもプラスチック製品を使用している企業としての責任から、持続可能な社会を目指し、
当プロジェクトを通じて、海にも愛~Eye~を届けて参ります。

シードの取り組み

《現状のリサイクル》

製造工程で排出されるプラスチック廃材も、その種類や純度に応じて、工場内外での最適な再利用を選択し、リサイクルを行っています。



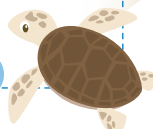
新たな取り組み

SEEDは皆様が使ったコンタクトレンズのブリスターのリサイクル活動に取り組んでいます！

皆様のご協力が必要です！



ブリスターはポリプロピレン素材でできている
リサイクルに適したプラスチック素材です。



《目指す関係性》



三方良し(Win-Win-Win)の
関係性づくり

【海洋プラスチック問題の現状】



鼻にストローが刺さった
ウミガメ



海岸に漂着したゴミの山

陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量(2010年推計)

1位 中国	353万t / 年
2位 インドネシア	129万t / 年
3位 フィリピン	75万t / 年
4位 ベトナム	73万t / 年
5位 スリランカ	64万t / 年
...	...
20位 アメリカ	11万t / 年
...	...
30位 日本	6万t / 年

人口密度や経済状態等から
国別に推計した結果、
1~4位が東・東南アジア(※1)

2050年までに海洋中に存在する
プラスチックの量が魚の量を超過する
と予測された(重量ベース)(※2)

※推計量の最大値を記載

※1 (出典) Jambeckら: Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015) を基に記載

※2 (出典) The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics (2016.Jan. World Economic Forum)

日本政府の環境に対する取り組み

環境省はレジ袋の有料化の義務付けを含んだ使い捨てプラスチックの削減戦略の素案を決定。